

## 平成28年度第3回亀岡市文化財保護委員会 会議録要旨

1 日時 平成29年1月19日(木) 午前10時00分～正午

2 場所 亀岡市役所 202・203会議室

### 3 出席委員

安藤 信策 委員  
井本 伸廣 委員  
加藤 美智恵 委員  
川端 秀昭 委員  
永光 寛 委員  
長谷川 澄夫 委員  
山下 ひろ子 委員  
鵜島 三壽 委員  
嵯峨根 彰 委員  
豊田 知八 委員  
深町 加津枝 委員

### 4 欠席委員

藤井 健三 委員

### 5 出席事務局職員

河原 社会教育課長  
土井 社会教育課文化財係長  
中澤 社会教育課文化財係主任  
齋藤 社会教育課文化財係主査  
黒川 亀岡市文化資料館長  
長谷屋 亀岡市文化資料館主事  
樋口 亀岡市文化資料館文化財専門官

6 傍聴者 なし

### 7 議事の概要

#### (1) 開会

永光会長あいさつ

#### (2) 議事

事務局より亀岡市指定文化財としての進め方と、3点(「舟筏無難」銘石灯籠・金刀比羅神社奉納船・保津川船下り操船技術)の指定案件について説明した。

各委員から、次の質問・意見があった。

#### ◆石灯籠の意見について

・「舟筏無難」銘を強調したいのはわかるが、指定名称の付け方を確認した方がよい。

美術工芸品の名称の付け方は、材質・紋様となっている。左面の銘文だけを強調

するのは少しいかがと思う。

- ・石灯籠は、集落・船頭とどのような関わりがあるのか説明が欲しい。

◆金刀比羅神社 奉納船について

- ・奉納船は、昭和 40 年、昭和 45 年と年号があるが、製作した船大工が想定されているのであれば、その辺を明らかにした方がよい。香川県の金毘羅宮へ奉納されたものも含めて、船大工や四国までどうやって運んだのかなどを調査するとよい。
- ・奉納船は、奉納した背景を前面に出さなくてもよいと思う。有形民俗文化財として貴重であるということだから、信仰的な内容を説明するのがよい。
- ・奉納船について具体的な説明がほしい。
- ・石灯籠と奉納船は、五苗文書の船筏資料などと合わせて「保津川下りの操船技術」の補助資料として付けるが良い。

◆保津川船下りの操船技術について

- ・保津川の操船技術は、保津川の特徴を川底の高低に合わせて操船する技術と説明があったが、他の地域の操船との違いを明確にするべき。
- ・技術を指定することをコンパクトに説明するのが良い。
- ・説明文に元号と西暦が混在しているので整理をするべき。

(3) 閉会